

こんにちは 松坂みち子 です

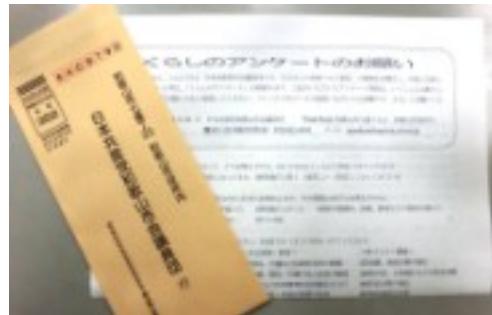


日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告 ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 202 2014.10.29 連絡先 402-1622 >

暮らしのアンケートにご協力を

日本共産党議員団は、みなさんの市政へのご意見・ご要望をお聞きし、市政に反映していきたいと考え、「くらしのアンケート」に取り組みます。お宅へ直接、返送用封筒と一緒に届けています。お手数をおかけしますが、ぜひご記入の上返送してくださいますよう、ご協力をお願いします。

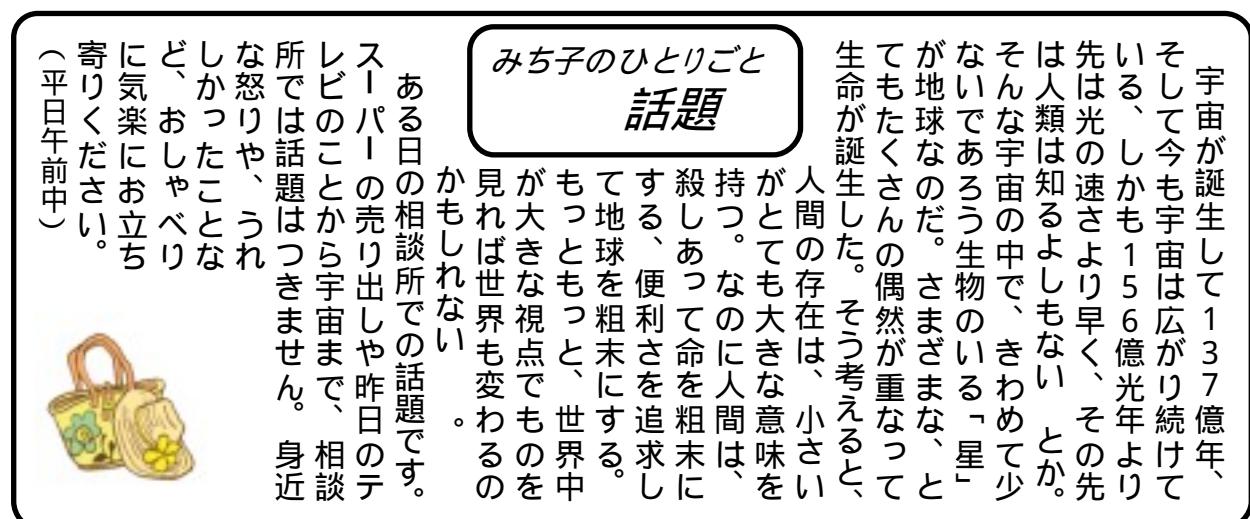


映画「A 2 - B - C」見てきました

26日、映画「A 2 - B - C」を見てきました。福島で起こっていることを知らせようと、現地の人への取材を中心につくられたドキュメント映画です。

「A2」とは甲状腺に“のう胞”ができている、「A1」なら異常なしです。ある家庭で二人の子どもがそれぞれ「A1」と「A2」と違う診断がでたので、「A1」と診断された子どもを近くの病院で再検査してもらったところ、のう胞がみつかり「A2」に。その後知り合いの子どもが「A1」と診断され、再検査をしてもらおうと病院へ行ったが、「A1」の子どもの再検査は行なわないと断られた話。また、「A2」と診断される子どもが増えているのは、医師の診断の精度が上がったからだという国の理由付け。こういうことがあったことを映画を見るまで知りませんでした。また、学校や保育所、住居の敷地は除染してもその周辺の線量は高いまま。再開された保育所では遊具のローラー滑り台のところは「すきまに放射能があるから滑ってはいけない」と言いながら、その遊具で遊ばせている。

被害を小さく見せようとする力がはたらき、そのために子どもたちが犠牲になっている、そんな構図が見えてくる映画でした。フクシマの現実をもっと知らなければと思いました。



こんにちはかとう直人です



んぶん
ぎても
が出た
害持つ
害福祉
迎える
と自
に介
護保
険サ
ビス
に切

り替えられてしまう。この方は重度訪問介護が介護保険では受けられず、風呂の湯船に浸かるのは1分、通院介護もたつたの10分に減らされ、費用も無料から1割負担になつた。この不合理に山の浅田達雄さん（66）は裁判を起こしている。思えば4年前、民主党政権時に65歳以降の介護保険優先はなくす約束

をした。だがいまだに福祉法第7条には優先が明記されている。それでも障害者運動で障害福祉サービス無料化を実現させ、和歌山では介護支給量も拡大した。一宮市の場合も運動が自治体判断を変えた快挙だ。そうだ、地方政府も変えられるんだと励まされた思いがした。

生活保護は権利です 切り下げやめて 受給者9人提訴 和歌山地裁

生活保護基準切り下げの取り消しを求めて和歌山市在住の生活保護受給者9名が27日、市と国を相手取って和歌山地裁に訴えを起こしました。生活保護をめぐる生存権裁判はすでに9地裁で提訴され、今回の和歌山市で10件目です。

裁判は、市に2013年と14年の生活保護基準切り下げの取り消しを求め、国に慰謝料各5万円の国家賠償請求するものです。提訴後の会見で原告弁護団の芝野弁護士は、基準切り下げが、原告らの生存権を侵害し、厚生労働大臣の裁量権を逸脱・乱用するものと批判。由良登信弁護士は、生活保護基準という社会保障制度の岩盤を壊す攻撃をここでくいとめようと訴えました。

- 中略 -

和歌山大学の金川めぐみ准教授（生存権裁判を支援するわかやまの会会长）は「健康で文化的な生活とは何かという憲法25条そのものを問う裁判です。当事者だけの問題ではありません。生活保護基準はすべての人にかかります。」と話しました。

しんぶん赤旗10月28日付より

つれもていこら 元気でいきいき健康づくり講座

11月3日（祝・月）午後1時～

市民会館・市民ホール 参加費無料（200名先着順）

「和歌山市みんなでとりくむ生き活き健康づくり条例（案）」ご案内 講演「高齢者の健康づくりを考えよう」 医学博士 松浦英夫氏

体操の実演「わかやまシニアエクササイズ」 講師 谷口和也氏

「NHK BOSAI体操」 健康インストラクター 嶋

「日本語の文法と構造」 健康日本2025 基本理念

主催：和歌山市議会
申込〆切：本問い合わせ：市議会事務局

申し込み・お問い合わせ：市議会事務局 435-1120